

# 「えひめ救急電話相談#7119」に関するアンケートの結果について

消防防災安全課

## 1 調査目的

令和5年7月1日の運用開始から2年を経過した、「えひめ救急電話相談#7119」については、月1,600件以上の利用があり、年々増加している。一方、救急車の出動件数は依然として高い水準で推移しており、真に必要な人に、必要な医療を提供するためには、引き続き#7119を多くの方に認知されご利用いただくことが不可欠であることから、現在の認知度を把握するとともに、これまで行ってきた広報の効果等を検証するため実施するもの。

## 2 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

## 3 調査期間

令和7年7月15日(火)～7月29日(火)

## 4 回答者数

400人(男性195人、女性205人、18歳～79歳の県内在住者)

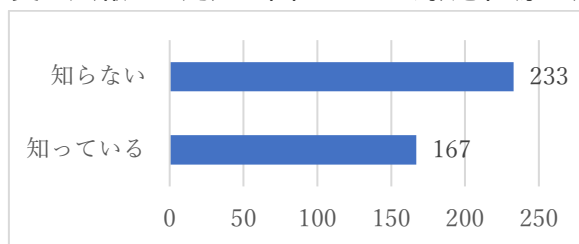
## 5 概要

### (1) #7119の認知度について(Q1)

○調査結果:42%(167人/400人)

※前回(R6.7.2～R6.7.9)調査結果:35%(139人/400人)

◆前回調査時から、認知度は7%上昇しているものの、「#7119を今後利用するか(Q12)」の質問結果では、「利用意向あり」が6割弱(228人/400人)であることから、更に広報して周知を図ることで、救急医療の適正化に貢献できる余地がある。

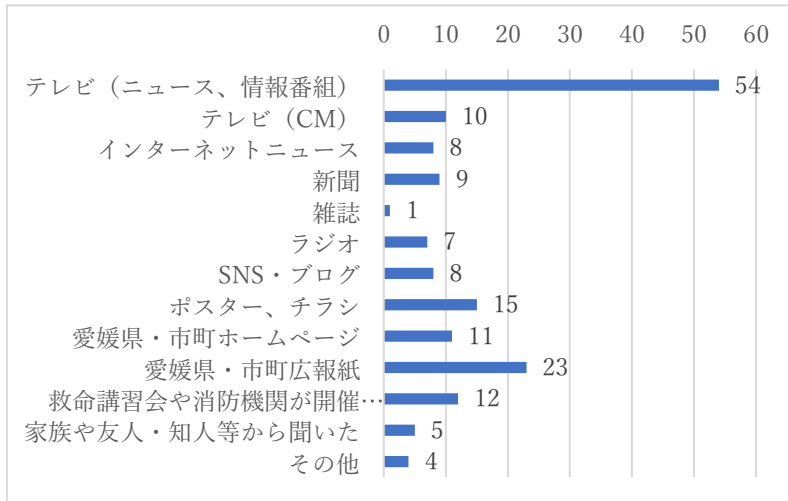


### (2) 認知に至ったきっかけ・経緯(Q2)

順位	広報媒体	割合(人数)
1	テレビニュース等	32%(54人)
2	自治体の広報紙	14%(23人)
3	ポスター・チラシ	9%(15人)

○前回調査時(32%(45人))と同様にテレビの活用が効果的であるため、テレビで取上げられるような取組みが必要である。

○各市町と連携し、継続的に広報紙へ掲載することが必要である。

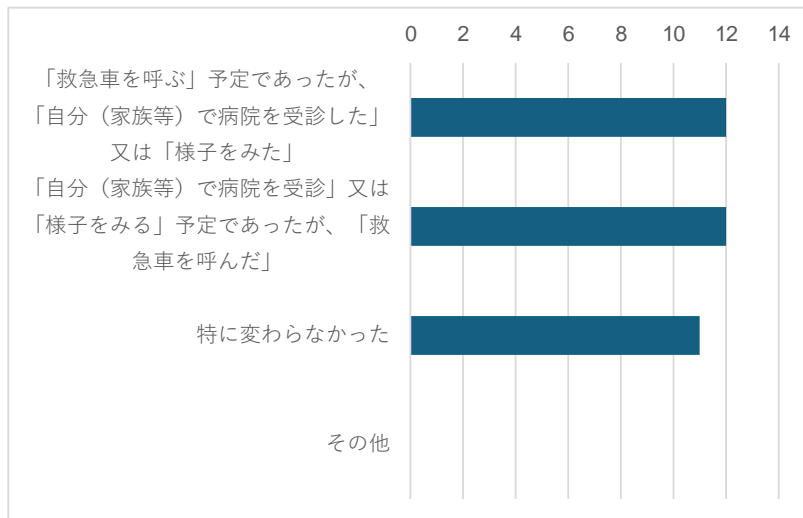


### (3) 利用経験者 人の行動変容について(Q7)

○利用者の8割(24人/30人)に行動変容あり。

- ・救急車を呼ぶつもり → 相談により救急車を呼ばなかった(12人)
- ・受診か様子見のつもり → 相談により救急車を呼んだ(12人)

◆利用していただくことで、救急車の適正利用に繋がることや、潜在重症者等の早期受診、早期搬送に繋がっているものと思料。



### (4) 救急車の出動件数が過去最多であったことの認知(Q9)及び救急搬送者のうち約5割が軽症者であることの認知(Q11)

○調査結果:Q9⇒12%(46/400)、Q11⇒28%(111人/400人)

◆#7119の広報に加え、救急出動件数が高い水準で推移していることや、軽症者の搬送が多いこと等、救急医療の逼迫状況を広報していくことが必要である。



(5)受診可能病院を確認するための119番利用歴(Q10)

○調査結果:10%(38人/400人)

◆前回調査時<<18%(71人)>>から減少しているが、引き続き119番入電件数を削減するためにも、#7119の更なる広報が必要である。